



日時	2025年7月10日(木) 15時17分～16時47分
場所	板橋区立若木小学校 2F 多目的室
出席者	12名(【地域委員】9名、【行政委員】3名)
欠席者	1名
傍聴人	【区教委】1名【若木小学校教職員】22名

議事内容

1 委員長挨拶

委員長は、本会に区教委より iCS 担当者が出席していることを紹介し、オブザーバーとしての参加を承認した。

委員長は、先日校長が共有した通り、PTA が志村警察署から表彰されたことに触れた。児童の安心・安全を守るために、今後も本部役員を中心に、多くの保護者と協力しながら、少しずつ力を出し合って活動を進めて欲しいと述べた。

また、他の自治体では、PTA 会員や役員の減少により活動が困難となり、学校への支援が十分に行えず、教育活動に支障をきたしている事例があることを紹介した。そのうえで、本校では多くの保護者がボランティア等で積極的に協力してくれていることに対し、改めて感謝の意を表した。さらに、学校側に対しても、PTA の「T (Teacher)」として、保護者の支えを大切に、他地区のような状況に陥らないよう努めてほしいと要望した。

学校安全に関する事項として、以下の点について言及した。

- ・「こども 110 番」の協力依頼について、毎年の更新が途切れている状況があるため、継続が難しくなった場合には申し出てもらう形に変更するなど、本部役員の負担軽減を図る方法で対応を検討してほしいと依頼した。…①
- ・また、学校と理研の間の道路についてはスクールゾーンが設定されているものの、バリケード撤去後に不正通行が見られる件について、PTA の保険対象者であればカラーコーン等の設置が可能であることが判明しているが、その後の対応状況について校長に確認を求めた。…②

教育活動に関しては、以下の報告を求めた。

- ・夏季水泳の廃止に伴い、1 学期の正課授業に水泳指導の時間を追加（通常年間約 10 単位時間）した件について、各学年の実施状況の報告。…③
- ・キー入力練習について、スズキ教育ソフトより無償提供されている「キーボー島」のアカウントを年度当初に全児童分発行したが、その後の活用状況の報告。…④

以上をもって、委員長の挨拶とした。

※上記の要請および質問に対する回答は、以下のとおりである。

- ① PTA 会長は、依頼先の見直しを含め、A 地区の集まりにおいて他校の取り組み状況を確認しながら、今後の対応を検討していきたいと述べた。
- ② 校長は、受付員を PTA 会員とすることで、万が一の際に保険の対象となるようにし、7 月からスクールゾーンの入口にコーンを設置するなどの対応を行っているとして右図をもって報告した。
- ③ 副校長は、以下のとおり報告した。いずれの学年においても、学習指導要領で想定されている年間 10 単位時間を上回る水泳指導が実施されていることが確認された。なお、夏季水泳分を正課に上乘せした分についても、今後実施が予定されており、教育課程が適切に履行されていることが確認された。

1 年：12 時間

2 年：12 時間

3 年：10 時間



4年：16時間

5年：14時間

6年：14時間

- ④ 校長は、各担任による指導が開始されたことを報告した。夏季休業前に、必ず ID とパスワードの配布および使用方法の指導を行うよう、改めて要請した。

2 校長説明

校長がその後の「1学期の活動報告(学習・行事・生活)」等を説明した。

1学期は、学校全体として落ち着いた雰囲気の中で運営された。ただし、公開授業の際に一部の児童の様子について、保護者から心配の声が寄せられた。申し出の内容を確認した結果、指導が必ずしも十分でない点が見受けられたため、学校として体制の見直しと各クラスでの日常的な指導の徹底を図る方針を示した。

【学習指導と ICT 活用】

学校では、年間を4つのステージに分けて運営し、基礎・基本の徹底と学習の充実を目指している。板橋区が推進する「読み解く力」に重点を置き、教科書を基盤とした自学自習の機会を増やしている。調べ学習では、教科書→資料集→インターネットの順で情報収集を行い、情報の信頼性を見極める力の育成に努めている。主体的・対話的で深い学びを目指し、日常的な意見交換やノートまとめを実施している。

ICT機器の活用も進めており、1年生では6月からタブレット PC の使用を開始した。手書き入力や支援員によるサポートを受けながら活用している。書画カメラやデジタル教科書の動画資料も活用し、アナログとデジタルの良さを組み合わせた授業運営を推進している。

中台中学校からの協力依頼により、生成 AI を校務改善に活用する事業に若木小学校も参加することとなった。

【生活指導と朝読書】

集団行動時の静粛化にばらつきが見られ、定着を目指して管理職・教員で対応策を検討・実施している。朝読書の実施率は上昇した。一方、今後は質の向上が課題となっている。校長は全学級の様子を確認できるが、担任はこれが困難な点を何とかしたい。また、児童が自らを律するためには、意識づけの手立てが必要であると考え、校長は教員に対して各クラスでの取り組みを促した。今後は、教員に対してさらに前もって声かけを行っていく方針である。

【行事・校外活動・特色活動】

5月23日に遠足を実施し、来年度は1～4年生のみの実施を検討している。5年生は倉淵移動教室、6年生は日光移動教室を通じて新しい体験を重ね、成長を促している。

6年生の文化体験では、劇団四季のミュージカル鑑賞時に公衆道徳の課題が浮上した。今後はマナーの強化が必要である。

けん玉などの特色活動を通じて、児童の自信や誇りの育成に努めている。

【地域・家庭・PTA との連携】

若木小は毎日公開しているが、そのような中でも、年間3回の公開授業日を設け、積極的に情報公開に努めている。また、PTA 活動は警察から表彰されており、今後も子どもたちの前で表彰を行う予定である。

学校ホームページの活用を強化し、これまで校長からの配信が主であったが、各学年からの投稿も開始した。校長からの配信は「校長日記」、各学年からの配信は「〇年」としている。

【教員体制と人事】

A 教諭の育休取得に伴い、B 教諭が担当していた授業を C 教諭が引き継いでいる。2学期からは A 教諭が復帰予定である。新任の C 教諭は理科・外国語を担当しており、初年度ながら成長を見せている。

【配慮を要する児童への支援】

スマイルルームを活用し、教室に入れない児童を受け入れている。このほか、関係機関と連携して支援を継続しているケースもある。

【学習権と保護者対応】

児童の学習権を守るため、ガイドラインを適切に運用しながら、保護者と連携して慎重に対応している。今後も医療・支援機関との連携を強化し、支援を継続していく。

校長の説明に対して、委員から以下のような質問や意見があった。

- ・全校遠足については、教育課程を圧迫するようであれば、無理に実施するものではないとする意見があった。一方で、保護者がすぐそばで児童の活動の様子を見る機会となり、意義のある活動であ

ったとの評価もあった。高学年を除外し、1～4年生で実施するなどの方法については、CS委員会としては学校側で検討を進めてほしいと意見した。

- ・1年生のタブレット導入にあたっては、多くの児童がスムーズに取り扱っている様子が見られた。以前の1年生よりも上手に扱っているとの評価があり、今後は不明な点が出た際にボランティアの補助があると、より教育活動が円滑に進むであろうとの意見があった。
- ・担任が他学級の読書の様子を見られないという問題については、担任以外の教員が順番に各学級に朝読書の時間に入ることで、それぞれ他学級の様子を見て回ることが可能である。また、委員として参観した際にも、昨年度からも取り組み状況は大きく改善していた。しかし、その中でも学級による差異が見られた。理想とすべきクラスの様子と自身のクラスの様子を動画で提示し、児童に見比べさせて、あるべき姿を検討させることも一つの方法である。
- ・学校全体が落ち着いているとの指摘があった。本日の体育館での学習においても、集合時に静かに集まることができていた。一部課題のある児童については、対応が進んでおり、安心しているとの声があった。
- ・展覧会が今後予定されているが、専科教員だけでなく、各担任も協力して進めてほしいとの意見があった。

3 各委員から

特に連絡事項無

4 熟議「エリアのめざす子ども像に向けた9年間の系統的な指導の在り方」

～10/15 学びのエリア研修の授業公開を見据えて～

当初は上記のテーマを設定していたが、多数の教員が会議に参加していたため、校長は委員の了解を得て、参加教員に一学期の教育活動を振り返ってコメントするよう求めた。委員は予定変更を了承した。

なお、当初予定していた熟議テーマの設定理由について、校長は次のように説明した。現在、若木小学校では総合的な学習の時間の見直しを進めており、地域を軸とした学習内容の共通化や実践型の学びを重視している。さくら草の栽培などについても、関連づけながら学習を展開できるとよいのではないかと述べた。

一方、委員からは次のような意見が出された。総合的な学習の時間には育成すべき資質・能力があり、それに迫るための方法として様々な活動がある。本来、若木小学校で児童にどのような資質・能力を育成するかを先に明確にする必要がある、そのためにさくら草の栽培が必要であれば活用すればよい。さくら草ありきでは教員の理解が得られず、本科目の趣旨と齟齬が生じる。他方、学校の特色としてさくら草がある。授業の内容については教員が考えればよいが、今後も特色として大切にしていけるとよいのではないかと述べた。

今後、総合的な学習の時間を見直すにあたっては、まず本科目が他の科目とどのように異なるのかを教員とCS委員が共通理解した上で議論を進める必要がある。本科目は、特定の状況に役立つ力を育成するものではない。一方、校長が提案するように、9年間を見据えて各学年でどのような力を身につけさせるのかを明確にしていく必要がある。キャリアパスポートのように経年利用し、児童が身につけたスキルなどを見える化することも考えられる。こうした具体的な対応方法を検討してはどうか。なお、同科目の解説にあるように、「自分が学習したことが地域の役に立った」と感じさせることが、これまで地域としてできていたのか、さくら草の栽培を依頼する地域においても、今一度再確認が必要かもしれない。

【各学年による一学期の振り返り】

- 1年生：入学当初の不安から成長し、ひらがなの習得や友達との関係構築が進む。交流活動やペアワークの拡充を目指している。
- 2年生：1年生の学校探検で案内役を経験し、成長を実感。展覧会に向けて計画的に作品作りを進行中。
- 3年生：スタート時点で素直な児童が多いが、学年が上がるにつれてトラブルやルール違反が増加。九九の定着や家庭との連携が課題。
- 4年生：パワーがあり、やる気が出れば大きな力を発揮できる学年。話し合い活動やメリハリのある指導を重視。

5年生：高学年としての自覚が徐々に芽生え、移動教室の成功を目指して生活指導を強化。成長と課題の両面が見られる。

6年生：最高学年としての自覚とリーダーシップが育ちつつあるが、「話を聞くこと」が最大の課題。中学校進学を見据えた指導も継続。

専科：各教室から専科に送り出す際、児童らによっては場の切り替えができない子がいる。また、持ち物などについても課題があることから家庭の協力を得る中で後者などは改善できるとよい。

5 副校長が謝辞を述べた。

CS 委員会年間予定について

年間予定を以下のとおりである。

第1回 ~~令和7年04月07日(月)13:50～15:30~~

第2回 ~~令和7年05月17日(土)13:30～15:00~~ ※午前土曜授業

第3回 令和7年07月10日(木)15:15～16:45 ※前期評価について

第4回 令和7年10月04日(土)13:30～15:00 ※学校評価 ※AM 展覧会

第5回 令和7年10月15日(水)13:30～ ※学びのエリア合同

第6回 令和8年01月24日(土)13:30～15:00 ※次年度の経営方針について承認確認

※AM 土曜授業

配布資料	【学校側配布資料】		
	(1) 令和7年度 第3回若木小コミュニティ・スクール委員会 次第 (2) 令和7年度第3回 CS委員会校長説明スライドハンズアウト (3) 令和7年度教育課程について(届) 第1表の1		
作成者	CS委員長	確認者	校長

ⁱ 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編 平成29年7月 文部科学省
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_013_1.pdf